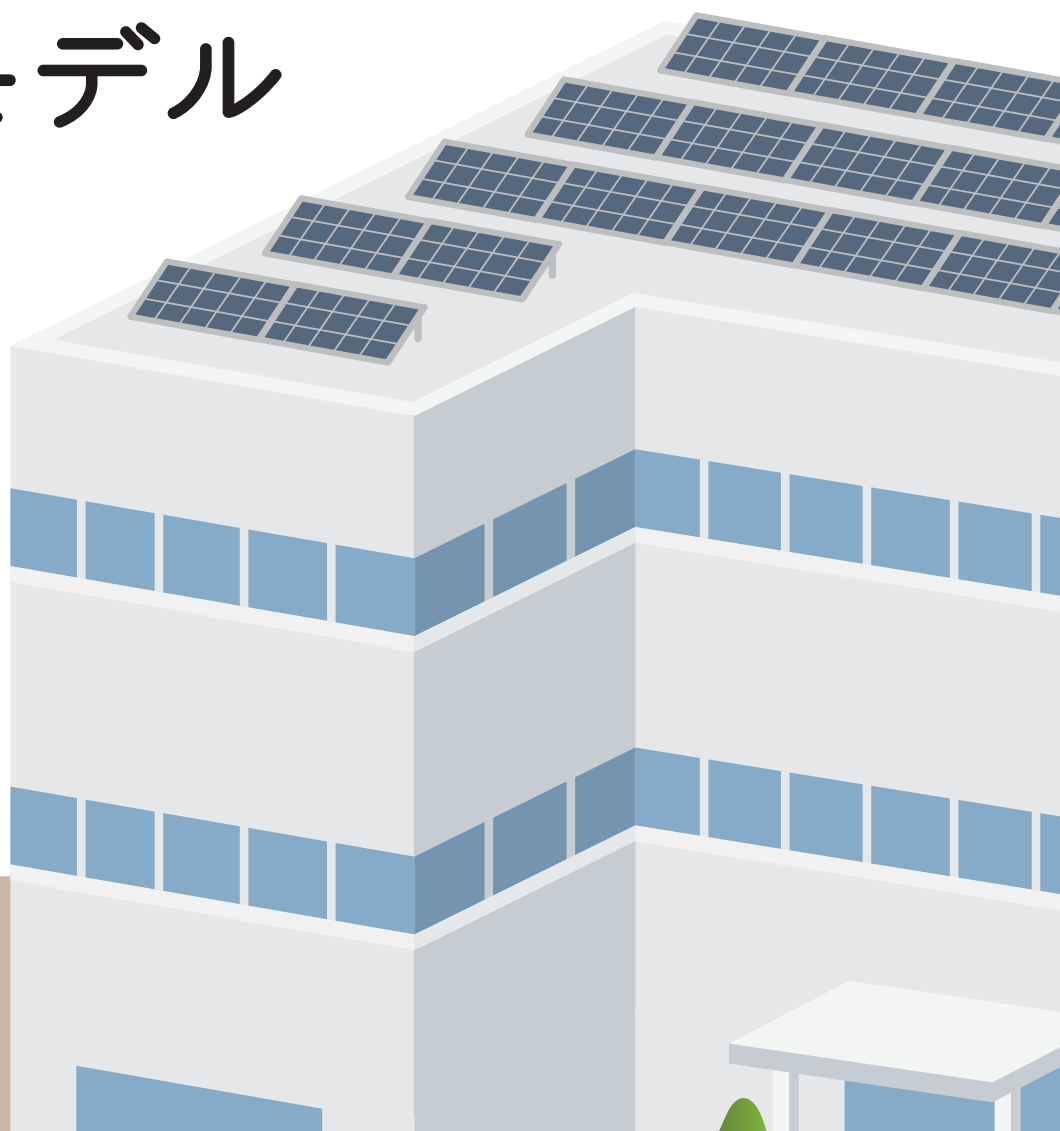




太陽光発電の電気は 自分で使う時代

PPAモデル



初期投資 0円

電気代を賢くコストダウン！

RE100への加盟やSDGsに貢献

太陽光発電の主流は 自家消費型へ

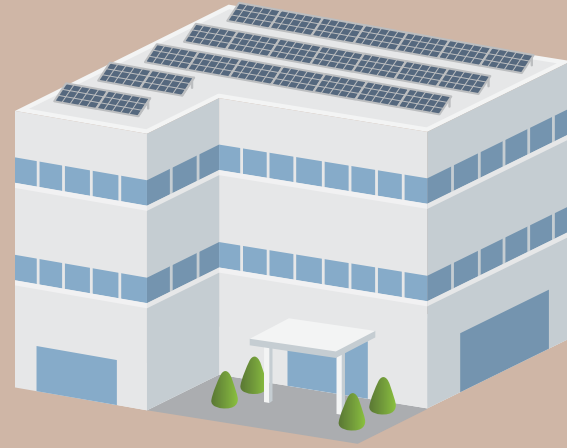
売っても損！
使った方がお得！



自家消費型太陽光発電とは、太陽光発電で創った電気を電力会社に販売するのではなく創った電気は自家用として使う。

つまり、発電した電気をを自分の家や社内の電力として自家消費する設備のことを指します。

創った電気をそのまま使う、**電気の地産地消モデル**ともいいます。



売電単価の低下



2012年再生可能エネルギーを普及促進のため、スタートした固定価格買取制度ですが、買取価格が年々下がり、それに伴い新たな設備での売電収入は低下しています。

またその制度自体も年々見直しがされ、固定価格買取制度（FIT）という制度自体が一部をのぞいて大きく改訂されています。

例えば50kW未満の太陽光発電設備は当初（2012年）、売電単価「40円/kw」（税別）でしたが、2021年度からは「12円/kWh」（税別）となり、加えて非常用コンセントの設置や地域活用要件が義務付けられています。

2012年度

40円/kw

9年後

2021年度

12円/kw

$\frac{1}{3}$ 売値が
以下！

買う方が
高い！

一般的な電気代は¥20～¥25/kwhなので、太陽光発電で創った電気は、売るよりも自家消費し、足りない分を電力会社から購入すれば、電気代のコスト削減に繋がります。



新たなサービス PPAモデルが登場！

設置やメンテナンス
心配ご無用！



設置費用無料で、 ソーラーパネルを設置！ PPAモデルの登場！

「タダなものほど怖いものはない」と思われるかもしれませんが、PPAモデルの仕組みは、3者が損をすることのない仕組みになっているため、**初期投資が0円で再生可能エネルギーを利用**できるのです。

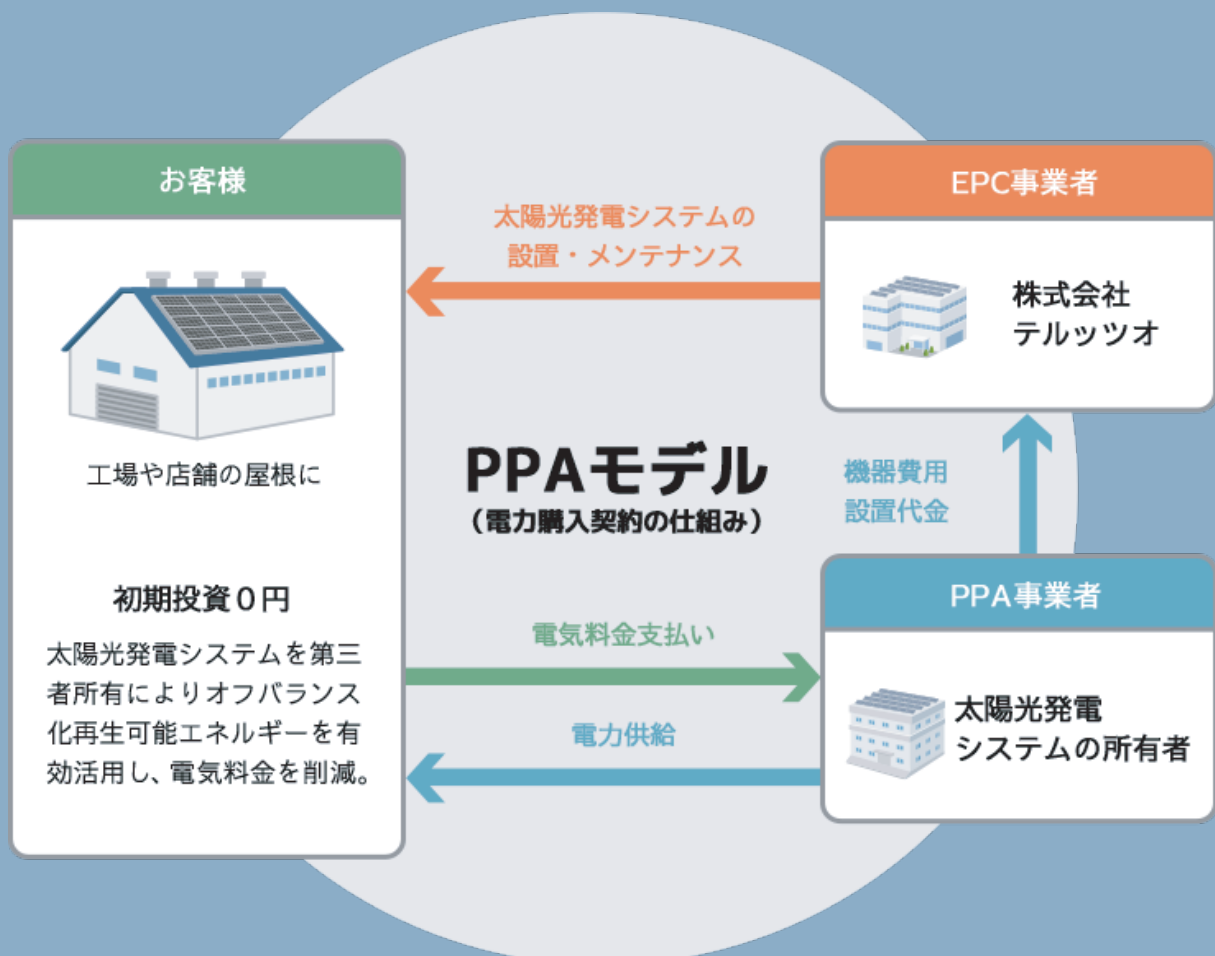
PPAって何？



PPAとは、**Power Purchase Agreement**の略ですが、日本で使われている「PPAモデル」とは、「太陽光発電の無償設置」というビジネスモデルです。

電気を利用したいA社が太陽光発電設備を所有するB社と契約をし、その費用をB社が負担するというものです。

A事業者は屋上や屋根に無償で取り付けてもらいかわりに、そのB社が太陽光発電で発電した電気を購入するというビジネスモデルです。



※契約締結諸費用は別途必要

※PPA事業者は多数あり、弊社からPPA事業者をご紹介します。

※契約内容等をご検討ください。また、弊社テルッツォがPPA事業者になることもあります。

将来に備えて準備

かならず必要となる自家消費型太陽光発電

PPAモデルは単に電気代のコスト削減を削減するだけでなく、企業価値を高め、レジリエンスの強化にも繋がります。

ここでは、自家消費型太陽光発電をPPAで導入するメリットをご紹介します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



1 非常用電源としての活用

近年の異常気象による大型の台風や自信、それだけでなく、現在さまざまな要因によって電力の供給がストップしてしまう可能性があります。PPA事業になかでは太陽光発電設備に必要に応じて「非常用電源」を確保します。非常時には太陽光発電設備から電気を供給します。蓄電池を併設すれば日中だけでなく24時間電気を供給することも可能です。

2 RE100への加盟やSDGsへの貢献ができる

2020年内閣はパリ協定に基づき2050年までにカーボンニュートラルの達成を宣言しました。企業が事業継続していく上では環境対策に取り組むことが不可欠となります。太陽光発電による電気を使うことで温暖化ガス削減に努めると同時に持続可能な社会の実現に繋がります。自然エネルギーを使うことは企業のイメージアップ、しいては企業価値を高めることとなります。

3 電力の購入量を軽減

発電した電気はPPA事業者から直接購入し、足りない分を通常の電力会社から購入します。PPA事業者から購入する電気は当然、電力会社から購入する電気代よりも安価ですので電気代の削減に繋がります。

また電気の購入金額は20年間は一定ですので年々あがる電気代の対抗策の一つとなります。

※高圧でのご契約の場合、夏の消費電力のピーク時と太陽光発電の発電ピーク時が重なりますのでデマンド値（基本料金）を下げる効果も期待できます。

4 初期費用、メンテナンス費用は一切かかりません

太陽光発電設備の初期費用は全てPPA事業者が負担します。

PPA事業者は安定した発電を確保する必要がありますので発電量の監視はもとより、必要なメンテナンスを実施する必要がありますのでO&MすべてPPA事業者が実施します。契約事業者の負担する費用は一切ありません。

5 契約期間が満了した際に設備が譲渡される

PPA事業者との契約期間が終了すれば、無償で設備が譲渡されます。

それ以降は発電した電気はすべて無償で使うこととなります。太陽光パネル自体は20年以降も発電を続けます。発電した電気については電気代がかかりませんので、20年後設備を譲渡されると電気代が大きく削減されます。

（契約完了後のメンテナンス費用は事業者負担となります。）

あなたの
太陽光発電との暮らしを
ずーっと見守ります。

体験施設



自社運営施設

まちかどライブラリー

完全自立型

自家消費型

ライブラリーで使う電気はすべて太陽光で作った電気を蓄電池に貯めて利用しています。電灯線を引いていませんが、照明だけでなく、エアコンやコンセントも24時間使えるため、災害時の拠点として利用していただけます。



創業60年

株式会社テルツォは2021年で創業60年を迎えました。2010年より太陽光発電事業開始し、兵庫県をはじめ関西エリアに多くの太陽光発電所を設置しています。2015年からは営農を伴う、ソーラーシェアリングの設置にも力を入れています。



〒665-0022

兵庫県宝塚市野上1丁目1-8

電話:0797-74-0234

FAX:0797-74-0235

<https://terzo.co.jp>



サンキュー イイナサンサン
0120-39-1733